

シケマツ

創業1917年

IIMN600000 AF

TW099シリーズ取扱説明書

2022年11月現在

本品をお買い上げいただき、ありがとうございます。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。この説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。もし、紛失された場合は、当社又は販売店へお申し出ください。

作業環境に応じて、ろ過材・吸収缶が取り付けられます。

有害物質の状態は次のうちどれですか？

④ 固体・液体：粒子状物質

⑤ 気体：ガス・蒸気

⑥ 混在 (④+⑤)

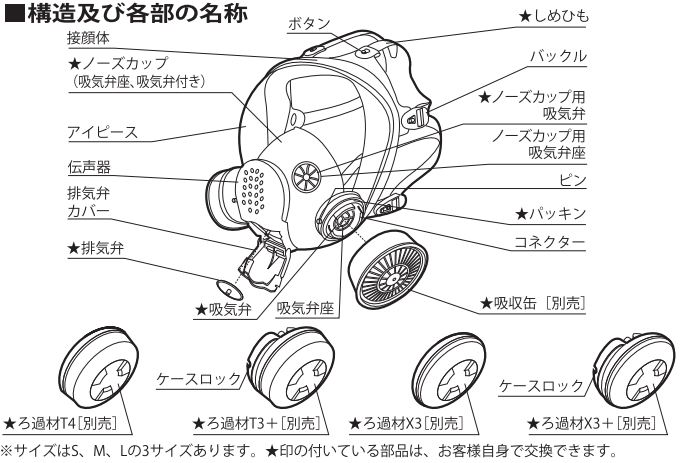
取替式防じんマスク		防毒マスク	
直結式（全面形）区分:RL3 型式の名称 TW099T4 (型式検定合格番号第TM690号)	直結式（全面形）区分:RL3 型式の名称 TW099T3+ (型式検定合格番号第TM667号)	直結式小型（全面形） 型式の名称 TW099 (型式検定合格番号第TN520号)	
			写真は、吸収缶XPL3+／OVを取り付けた例です。
直結式（全面形）区分:RL3 型式の名称 TW099X3 (型式検定合格番号第TM689号)	直結式（全面形）区分:RL3 型式の名称 TW099X3+ (型式検定合格番号第TM666号)	このマスクには防じんマスクと防毒マスクの型式検定合格標章が複数枚貼付されています。	
		⚠ 注意 ろ過材 及び 吸収缶は別売りです。 ご使用前に、■使用の範囲を必ず確認のうえ作業内容に合ったろ過材又は吸収缶を取り付けてください。	

■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、よく読み安全にお使いください。各表示の意味は次のとおりです。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか又は物的損害が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項	
本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守りください。 誤った取扱いをされた場合、着用者の生命が危険な状態にさらされることがあります。	
⚠ 危険	防じんマスク 防毒マスク 共通
	防じんマスク 防毒マスク
⚠ 警告	防じんマスク 防毒マスク 共通
	防じんマスク 防毒マスク
⚠ 注意	防じんマスク 防毒マスク 共通
	防じんマスク 防毒マスク



■交換部品の商品コード	
交換部品	商品コード
排気弁、 吸収弁	50000 50127
ノズカップ用 吸収弁	50130
ノズカップ (吸収弁座、吸収弁付き)	S 50619 M 50620 L 50621
交換部品	商品コード
しめひも	50360
パッキン	50426

※ろ過材・吸収缶は「■取り付けることができるろ過材（又は吸収缶）」を参照してください。

防じんマスクTW099T4・TW099T3+・TW099X3・TW099X3+

■用途

本品は、事業場などにおいて発生する粉じん等から人体を守るために使用する取替式防じんマスクです。

■使用の範囲

性能区分はRL3です。
粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分は次の表のとおりですが、■使用上の注意事項⚠危険に示す環境では、使用しないでください。
なお、石綿を取り扱う作業においては、除去対象品や除去工法によっては、使用できない場合があります。
建設業労働災害防止協会編集・発行の「石綿技術指針対応版石綿粉じんへのばく露防止マニュアル」に明記されているとおりです。
(当社ウェブサイトの「石綿（アスベスト）対策」も参照してください。)

■粉じん等の種類及び作業内容に応じた防じんマスクの性能の区分

粉 じ ん 等 の 種 類 及 び 作 業 内 容	防 じ ん マ ス ク の 性 能 の 区 分
●特化則第38条の7(1) ●インジウム化合物の濃度 15μg/m ³ 未満 ●ナノメテリアル ⁽¹⁾ の製造・取扱作業 ⁽²⁾ ばく露がないことと予想されるレベル	全面形面体 RL3 RS3
●特化則第38条の7(1) ●インジウム化合物の濃度 3μg/m ³ 未満 ●建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等 ⁽³⁾ にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿はばく露防止に関する技術上の指針 ⁽⁴⁾ ●隔離空間の外部 ⁽⁴⁾ における、石綿等の除去等の作業を行う際に着用する防じんマスク ⁽⁵⁾ ●安衛則第38条の5(3) ●廃棄物の焼却施設に係る作業で、ダイオキシン類の粉じんのばく露のおそれのある作業において使用する防じんマスク ⁽⁶⁾ ●放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業又は緊急作業において使用する防じんマスク	RL3 RS3
●ナノメテリアル ⁽¹⁾ の製造・取扱作業 ⁽²⁾ ばく露のほとんどないことと予想されるレベル	全面形面体 RL3 RS3 DL3 DS3
●建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等 ⁽³⁾ にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿はばく露防止に関する技術上の指針 ⁽⁴⁾ ●隔離空間の外部 ⁽⁴⁾ における、石綿等の切断等を伴わない閉じ込みの作業又は石綿含有成形板等の切断等を伴わずに除去する作業を行う際に着用する防じんマスク	全面形面体 RL3 RS3 RS2
●鉛則第58条、特化則第43条及び粉じん則第27条 ⁽⁵⁾ 金属 ⁽⁶⁾ の溶接作業 ⁽⁷⁾ を発生する場所における作業において使用する防じんマスク	全面形面体 RL3 RS3 DL3 DS3
●鉛則第58条及び特化則第43条 ⁽⁵⁾ 管理濃度が0.1mg/m ³ 以下の物質の粉じんを発生する場所における作業において使用する防じんマスク	全面形面体 RL3 RS3 DL3 DS3
●建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等 ⁽³⁾ にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿はばく露防止に関する技術上の指針 ⁽⁴⁾ ●石綿等の除去等を行う場所で、石綿等の除去等以外の作業を行う際に着用する防じんマスク	全面形面体 RL3 RS3 DL3 DS3
●上記以外の粉じん作業	全面形面体 RL1 RS1 DL1 DS1

注 (1) 厚生労働省通告「インジウム化合物等を製造し、又は取り扱う作業場において労働者に使用させなければならない呼吸保護具」による。(令和2年12月3日 厚生労働省告示第29号)
(2) 厚生労働省通告「ナノメテリアルに対するばく露防止等のための予防的対応について」による。(平成21年3月31日 基発第0331013号)
(3) 厚生労働省告示「平成26年3月31日 技術上の指針公示第21号」による。
(4) 隔離空間の内部における石綿等の除去等の作業では、防じんマスクを使用しないでください。
(5) 厚生労働省通告「防じんマスクの選択、使用等について」による。(平成17年2月7日 基発第0207006号)
(6) 金属アーク溶接作業を継続して行う屋内作業場において使用する保護具については、呼吸用保護具に係る「要防護係数」を算出し、その「要防護係数」を上回る「指定防護係数」を有する呼吸用保護具を選定する必要があります。
厚生労働省通告「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令等の施行等について」による。(令和2年4月22日 基発0422第4号)
それ以外の金属アーク溶接作業は、性能区分RL2以上のろ過材をお選びください。
厚生労働省通告「金属アーク溶接作業を継続して行う屋内作業場に係る溶接用ヒュームの濃度の測定の方法等の施行について」による。(令和2年7月31日 基発0731第1号)

■性能		TW099T4	TW099T3+	TW099X3	TW099X3+
項 目		社内基準値	社内基準値	社内基準値	社内基準値
DOP粒子捕集効率	[%]	99.99以上	99.9 以上	99.9 以上	99.9 以上
吸気抵抗	[Pa]	160 以下	100 以下	160 以下	160 以下
排気抵抗	[Pa]	70 以下	70 以下	70 以下	70 以下
排気弁の作動気密	[秒]	15 以上	15 以上	15 以上	15 以上
二酸化炭素濃度上昇値	[%]	1.0 以下	1.0 以下	1.0 以上	1.0 以下
吸気抵抗上昇値	[Pa]	350 以下	120 以下	350 以下	350 以下
重 量	[g]	430 以下	430 以下	420 以下	430 以下

■使用前の点検項目	
点検項目	
吸気弁、排気弁、しめひも、接顔体、アイピース等に、破損、亀裂、著しい変形等がないか。	
吸気弁、排気弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。	
吸気弁及び排気弁が弁座に適切に固定され、排気弁の気密性が保たれているか。	
ろ過材が適切に取り付けられているか。	
ろ過材に破損、孔あき等がないか。	
ろ過材から異臭が出ていないか。	

⚠ 注意

未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。

■点検内容及び不具合の処置		
点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいマスクと交換してください。
排気弁、 吸気弁、 ノズカップ用 吸気弁	弁がめくれていないか。 正しく取り付けられているか。	正しく取り付け直してください。
	汚れ、粉じん等が付着していないか。 破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	汚れを落としてください。 新しい弁と交換してください。
排気弁座	汚れ、粉じん等が付着していないか。 傷や変形等はないか。	汚れを落としてください。 新しいマスクと交換してください。
ノズカップ	弾力性は十分か。 破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。 深い傷はないか。	新しいノズカップと交換してください。
アイピース	視野を阻害する傷、汚れ、歪み等がないか。 汚れていないか。	廃棄又はメーカーに修理を依頼してください。 汚れを落としてください。
パッキン	確実に取り付けられているか。 汚れ、粉じん等が付着していないか。 破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	正しく取り付け直してください。 汚れを落としてください。 新しいパッキンと交換してください。
	マスク本体に適合したろ過材が取り付けられているか。 孔あき、破損、亀裂、変形等がないか。 装着時に息苦しくないか。 異臭がしないか。	適合するろ過材と交換してください。 新しいろ過材と交換してください。
ろ過材	正しく取り付けられているか。 弾力性は十分か。	正しく取り付け直してください。
	破損、亀裂、変形等がないか。	新しいしめひもと交換してください。

■取り付けることができるろ過材〔別売〕	
区 分	ろ過材
RL3	T4、T3+、X3、X3+

■ろ過材の付け方

〔ケースロックが無い場合〕

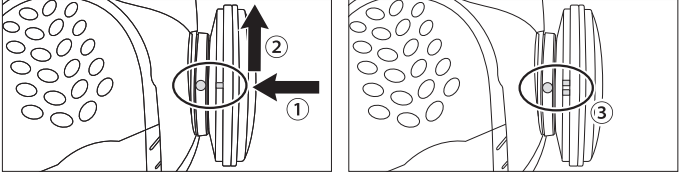
《付け方》

1.ろ過材（又は吸収缶）の「■」が面体の吸気口部の丸い突起（ピン）に合うようにコネクターに差し込みます。(①)

2.ろ過材（又は吸収缶）を右に60°回し、取り付けます。(②)

3.ろ過材（又は吸収缶）の「■■」と、面体の吸気口部の丸い突起（ピン）が合っていれば、正しく取り付けています。(③)

反対側のろ過材（又は吸収缶）も同様にして取り付けます。



⚠ 警告

ろ過材（又は吸収缶）が面体に正しく取り付けていることを確認してください。
平行に押し当てて回さないで、ろ過材（又は吸収缶）が斜めに取り付き、粉じん（又はガス等）が侵入します。



《外し方》

ろ過材（又は吸収缶）を左に60°回し、取り外します。

〔ケースロック付きの場合〕

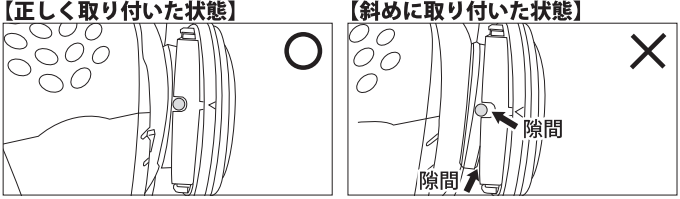
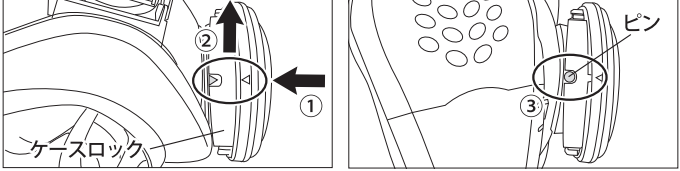
《付け方》

1.ろ過材（又は吸収缶）のケースロックのへこみ「┐」が、面体の吸気口部の「▼」に合うようにコネクターに差し込みます。(①)

2.ろ過材（又は吸収缶）を右に60°回し、取り付けます。(②)

3.面体の吸気口部の丸い突起（ピン）が、ろ過材（又は吸収缶）のケースロックのへこみ「┐」にはまっていれば正しく取り付けています。(③)

反対側のろ過材（又は吸収缶）も同様にして取り付けます。

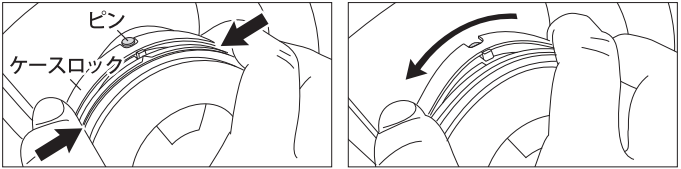


⚠ 警告

ろ過材（又は吸収缶）が面体に正しく取り付けていることを確認してください。
平行に押し当てて回さないで、ろ過材（又は吸収缶）が斜めに取り付き、粉じん（又はガス等）が侵入します。

《外し方》

ケースロックの両側を押し、丸い突起（ピン）からケースロックを浮かせたまま、ろ過材（又は吸収缶）を左に60°回し、取り外します。



■装着及び着脱の方法

⚠ 注意

新品時や保管後は、一時的に排気弁が弁座に貼り付いている場合があります。
装着前に、排気弁カバーを開け、排気弁の中心部の突起を持ってぐるぐる回し、排気弁が貼り付いていると、一時的に排気抵抗が高くなる場合があります。



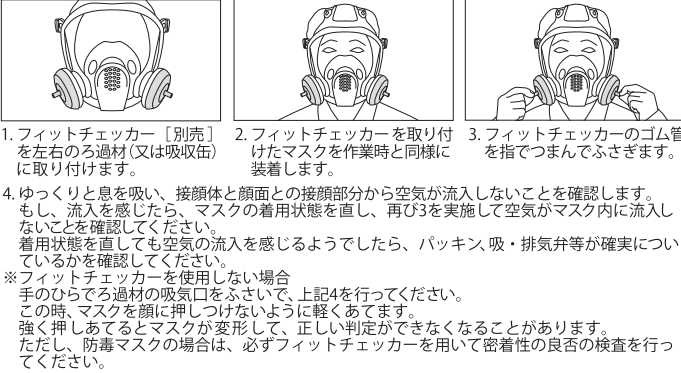
⚠ 注意

1. あごは面体内に深く入れすぎないようにしてください。
2. 顔と接顔体に間に髪の毛を挟み込まないようにしてください。
3. あごを強く締めすぎないようにください。密着性が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりしますので注意してください。



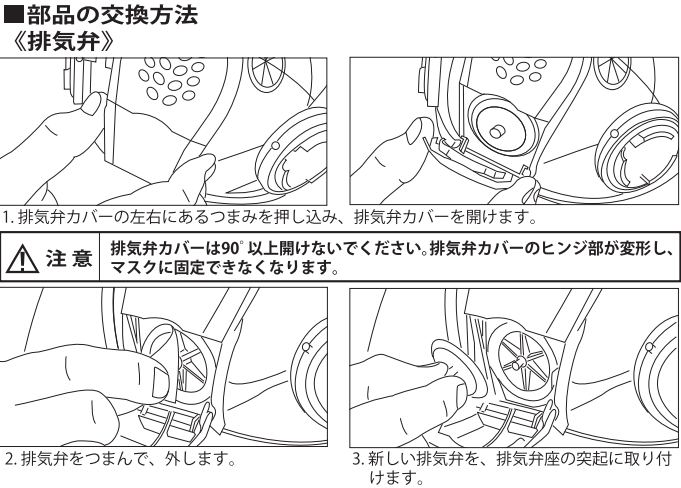
■密着性の良否の検査方法

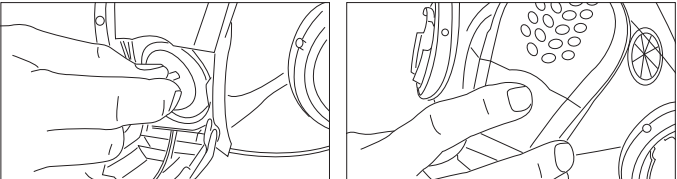
防じんマスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。
フィットチェッカー等を用いて、次の手順で着用者自身で密着性の良否の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。



⚠ 警告

1. 使用前に密着性の良否の検査を、必ず実施してください。
2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。それでも密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。（点検内容及び不具合の処置、参照）
3. 不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。





4. 排気弁の中心部の突起を持って、軽く押しながらくるくる回します。
くるくる回れば正しく付いています。
※正しく付いていることを必ず確認してください。
5. 排気弁カバーをカチッと音がするまで押し込み、閉めます。

注意 排気弁を交換する時は、排気弁座を傷付けないように注意してください。
排気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。

《吸気弁》

- 吸気弁をつまんで外します。
- 新しい吸気弁を、吸気弁座の突起に取り付けます。
※正しく付いていることを必ず確認してください。

《ノーズカップ用吸気弁》

- 吸気弁をつまんで外します。
- 新しい吸気弁を、吸気弁座の穴に取り付けます。
※正しく付いていることを必ず確認してください。

《しめひも》

- 右図の①のようにしめひものバックルを90°回転させます。
- ②のようにバックルをスライドさせて、しめひもを面体から取り外します。

- 新しいしめひもを **SHIGEMATSU** を表にして右図のように取り付けます。
※しめひもがねじれていないことを確認してください。

《パッキン》

- ピンセット等を使用してパッキンを外します。
- 新しいパッキンをもとどおりに、吸気弁座に取り付けます。
(除菌用のアルコールをパッキンに塗布すると容易に取り付けられます。)

注意 パッキンを外す時は、ケガをしないように注意してください。
また、パッキンを交換する時は、吸気弁座を傷付けないように注意してください。
吸気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。

■手入れの方法

注意 必ず、ろ過材（又は吸収缶）を外して実施してください。

- ろ過材（又は吸収缶）を取り外し、接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひも等に付着した粉じん、汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽くしめらせた布で拭いてください。
- 汚れの著しい時にはろ過材（又は吸収缶）を取り外し、ろ過材（又は吸収缶）以外の部分を、中性洗剤を少量入れたためるま湯又は水をスポンジ等に含ませて洗ってください。その場合は十分にすすぎ、陰干しをしてください。
- マスクを除菌用アルコールで拭いた時は、アルコール分が残らないよう十分に陰干ししてください。
- 防曇処理の特性上、アイピース内側の面にわずかな白化が発生する場合があります。
発生した場合は、柔らかい乾燥した布で拭き取ってから使用してください。

注意 取り外した部分は、もとどおりに正しく取り付け直してください。

注意 洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。

《ろ過材》

ろ過材は、よく乾燥させ、ろ過材上に付着した粉じん等が飛散しない程度に軽くたたいて粉じん等を払い落としてください。

警告 次に示した方法は、防じんマスクの粒子捕集効率の低下を招くおそれがありますので行わないでください。
1. 付着している粉じんを圧縮空気などで吹き飛ばして除去すること。
2. 強くたたいたり、たたきつけることにより付着した粉じんを除去すること。

警告 ひ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は、手入れしないでください。1回使用ごとに廃棄してください。

注意 一度使用したろ過材を手入れして再使用する場合は、新品時より粒子捕集効率低下していないこと及び吸気抵抗が上昇していないことを確認して使用することが必要です。

■保管方法

清潔な冷暗所で、乾燥した状態で保管してください。

注意 積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、ろ過材又は部品を交換してください。

《ろ過材》

- 収縮、破損若しくは著しい変形等が生じたとき。
- 著しい吸気抵抗の上昇又は粒子捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

- 弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
- 亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は弾力を失ったとき。

■廃棄方法

- 廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に従って適切に処理してください。
- 使用済みのろ過材は、付着した有害物質等が再飛散ないように容器又は袋に詰めた状態で廃棄してください。
- 廃棄物処理法で規定している特別管理産業廃棄物を捕集したろ過材は、特別管理産業廃棄物として廃棄物処理法に従って、適切に処理してください。

■オプション部品 【別売】

最後の**■オプション部品 【別売】**を参照してください。

防毒マスク TW099

■用途

本品は、有毒ガス若しくは蒸気又はこれらのものと混在する粉じん等から人体を守る目的で使用する直結式小型防毒マスクです。

■使用の範囲

本品は、作業環境中のガスや粉じんの種類に適した吸収缶を取り付けて使用してください。
吸収缶の取扱説明書をよく読み、作業環境に適した吸収缶であることを確認して使用してください。
■使用上の注意事項の△危険に示す環境では、絶対に使用しないでください。
本品が使用できるガス又は蒸気の濃度の上限は、次のとおりです。
0.1% 【労働安全衛生法による】

注意 マスクに、直接薬品がかかる環境では、アイピースの白濁、亀裂等のおそれがありますのでカバークラスを使用してください。

■性能

項 目	社内基準値
吸気抵抗 [Pa]	35 以下
排気抵抗 [Pa]	70 以下
排気弁の作動気密 [秒]	15 以上
二酸化炭素濃度上昇値 [%]	1.0 以下
重 量 [g]	370 以下

※社内基準値は、吸収缶等を取り付けていない時の数値です。

■使用前の点検項目

点検項目
吸気弁、排気弁、しめひも、接顔体、アイピース等に、破損、亀裂、著しい変形等がないか。
吸気弁、排気弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。
吸気弁及び排気弁が弁座に適切に固定され、排気弁の気密性が保たれているか。
吸収缶が適切に取り付けられているか。
吸収缶に水が浸入したり、破損、変形等がないか。
吸収缶から異臭が出ていないか。
ろ過材が分離できる吸収缶の場合、ろ過材が適切に取り付けられているか。
未使用の吸収缶の場合、保存期限を過ぎていないか。また、包装が破損していないか。

注意 未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。

■点検内容及び不具合の処置

点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいマスクと交換してください。
排気弁、吸気弁、ノーズカップ用吸気弁	弁がめくれていないか。 正しく取り付けであるか。	正しく取り付け直してください。
排気弁座	汚れ、粉じん等が付着していないか。 破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	汚れを落としてください。 新しい弁と交換してください。
アイピース	汚れ、粉じん等が付着していないか。 傷や変形等はないか。	新しい弁と交換してください。
ノーズカップ	弾力性は十分か。 破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか。	新しいノーズカップと交換してください。
パッキン	深い傷はないか。 視野を阻害する傷、汚れ、歪み等がないか。 汚れていないか。	廃棄又はメーカーに修理を依頼してください。 汚れを落としてください。
吸収缶	確実に取り付けられているか。 汚れ、粉じん等が付着していないか。 破損、亀裂、変形、粘着等がないか。 弾力性は十分か。	正しく取り付け直してください。 汚れを落としてください。 新しいパッキンと交換してください。
しめひも	環境中のガスに適応した吸収缶が取り付けられているか。 使用時間記録カードの記録と破過曲線図を比較して、有効時間が十分残っているか。 孔あき、破損、亀裂、変形、錆、著しい汚れ、水の浸入等がないか。 保存期限を過ぎていないか。 異臭がしないか。 正しく取り付けられているか。	適応した吸収缶に交換してください。 新しい吸収缶と交換してください。

■取り付けることができる吸収缶 【別売】

作業環境中に、有害な粒子状物質が存在する場合は防じん機能付き吸収缶を使用してください。
この際、作業環境中の粉じん等の種類、発散状況、作業時のばく露の危険性の程度等を考慮したうえで適切な区分のものを選びください。
粒子捕集効率が高いほど、粉じん等をよく捕集します。
なお、作業環境中にオイルミスト等が混在する場合は、区分Lをお選びください。
〔基準第0207007号による〕

対応ガスの種類	対応ガスの一例	型式の名称	型式検定 合格番号 (1)	フィルタ		指定防護係数 (2)		
				種 類	区分	防毒	防じん	
有機ガス用	トリクロルエチレン トルエン・ベンゼン キシレン シクロヘキサン	X/OV	TN 478	—	—	50	—	
			TN 513	外付けフィルタL3X	L3	50	50	
			TN 512	外付けフィルタL2L	L2	50	14	
			TN 511	外付けフィルタLL	L1	50	4	
			TN 510	外付けフィルタSC	S1	50	4	
			TN 501	一体型	S1	50	4	
		XS/OV	XL3/OV	TN 515	一体型	L3	50	50
			XPL3+/OV	TN 527	一体型	L3	50	50
			XPL3/MX	TN 528	一体型	L3	50	50
		T/OV	TN 372	—	—	50	—	
			TN 514	外付けフィルタL3X	L3	50	50	
			TN 499	外付けフィルタL2L	L2	50	14	
			TN 498	外付けフィルタLL	L1	50	4	
			TN 497	外付けフィルタSC	S1	50	4	
		TS/OV	TN 502	一体型	S1	50	4	
			TP/OV	TN 481	—	50	—	
		TL3+/RI	TN 500	外付けフィルタSC	S1	50	4	
			TN 526	一体型	L3	50	50	
有機・酸性ガス用	上記の有機ガス 及び塩化水素	T/OV/AG	TN 485	—	—	50	—	
有機ガス・ ホルムアルデヒド用	上記の有機ガス 及びホルムアルデヒド	T/FA	TN 487	—	—	50	—	
有機ガス・ メタノール用	上記の有機ガス 及びメタノール	T/MA	TN 516	外付けフィルタLL	L1	50	4	
			TN 509	—	—	50	—	
ハロゲン・ 酸性ガス用	塩素、臭素、 塩化水素	X/HG/AG T/HG/AG	TN 479	—	—	50	—	
			TN 480	—	—	50	—	
アンモニア用	アンモニア	T/AM	TN 517	外付けフィルタSC	S1	50	4	
			TN 476	—	—	50	—	
亜硫酸ガス・ 硫化水素用	亜硫酸ガス、 硫化水素	T/SO/HS	TN 503	外付けフィルタSC	S1	50	4	
			TN 477	—	—	50	—	
水銀用	水銀蒸気	T/ME	TN 505	外付けフィルタL2L	L2	50	14	
			TN 504	外付けフィルタSC	S1	50	4	
エチレンオキシド用	エチレンオキシド	T/EO2	◆	—	—	50	—	
			◆	—	—	50	—	

注 (1) ◆は、JIS適合品を示します。
注 (2) 要求防護係数よりも大きい指定防護係数をもつ呼吸用保護具を選択してください。
防じん機能付き防毒マスクの粒子状物質に対する指定防護係数は、防じんマスクの指定防護係数を適用してください。
その他取り付けることができる吸収缶がありますので、総合カタログを参照してください。

危険 1. 吸収缶は必ず作業環境中のガスの種類に合わせて選択してください。
2. 吸収缶は、作業環境中の温度と湿度が、常温・常湿の状態から大きく外れた時は、除毒能力が著しく減退する場合があります。
3. メタノール用としてお使いの吸収缶は、必ず1回使用ごとに廃棄してください。

■吸収缶の付け方

吸収缶の付け方は **防じんマスク** に記載してある**■ろ過材の付け方**を参照してください。

注意 吸収缶は湿度の影響を受けますので、新品の場合は、使用する直前まで袋を開封しないでください。

■装着及び着脱の方法

注意 新品時や保管後は、一時的に排気弁が弁座に貼り付いている場合があります。
装着前に、排気弁カバーを開け、排気弁の中心部の突起を持ってくるくる回ししてください。
排気弁が貼り付いていると、一時的に排気抵抗が高くなる場合があります。

《付け方》

付け方は **防じんマスク** に記載してある《付け方》を参照してください。

注意 1. あごは面体内に深く入れすぎないようにしてください。
2. 顔と接顔体の間に髪を挟み込まないようにしてください。
3. しめひもを強くしめすぎないでください。密着性が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりしますので注意してください。

《外し方》

外し方は **防じんマスク** に記載してある《外し方》を参照してください。

■密着性の良否の検査方法

防毒マスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。
フィットチェッカーを用いて、次に示す手順で着用者自身で密着性の良否の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。

密着性の良否の検査方法は **防じんマスク** に記載してある**■密着性の良否の検査方法**を参照してください。

警告 1. 使用前に密着性の良否の検査を、必ず実施してください。
2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの密着状態を直してください。それでも密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。
（「点検内容及び不具合の処置」参照）
3. 不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。

■部品の交換方法

部品の交換方法は **防じんマスク** に記載してある**■部品の交換方法**を参照してください。

■手入れの方法

手入れの方法は **防じんマスク** に記載してある**■手入れの方法**を参照してください。

■保管方法

- 清潔な冷暗所で乾燥した状態で保管してください。
- 吸収缶は、マスクと別にして、ポリ袋や缶等に密封し、湿気や外気にさらされないように保管してください。

注意 積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、吸収缶又は部品を交換してください。

《吸収缶》

- 打撃を受けたり落したりして、変形等が生じたとき。
- 有効時間に達したとき。
- 著しい吸気抵抗の上昇が認められたとき。
- 防じん機能付き吸収缶の場合は、著しい吸気抵抗の上昇又は粒子捕集効率の低下が認められたとき。

警告 使用中にガスの臭気や刺激を感じたときには、直ちに使用を中止してください。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

- 弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
- 亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は弾力を失ったとき。

■吸収缶の有効時間の判定

作業環境中のガス濃度を測定して、そのガスについて吸収缶に添付してある破過曲線図から次の方法で有効時間を算定してください。

吸収缶の有効時間はガス濃度によって異なります。

なお、使用経歴が不明な場合は新しい吸収缶と交換してください。ガス濃度は常に一定ではありませんので、有効時間内でも使用中に臭気や刺激を感じたら直ちに新鮮な空気の得られる場所に避難し、新しい吸収缶と交換してください。

〔吸収缶有効時間の概略算定方法〕

吸収缶の有効時間は、環境中のガス濃度と使用時間から計算することができます。例えば、環境中のシクロヘキサン濃度が0.01%、使用する吸収缶の破過時間がシクロヘキサン0.03%に対して100分とすれば、

$$\text{有効時間 (分)} = \frac{\text{試験ガス濃度 (\%)} \times \text{破過時間 (分)}}{\text{使用する環境中の有害ガス濃度 (\%)}} = \frac{0.03\% \times 100\text{分}}{0.01\%} = 300\text{分}$$

継続使用する場合には、それぞれの場合のガス濃度と使用時間を使用時間記録カードに記録しておき、その積算値が所定の有効時間に近づいたら、その吸収缶は使用しないでください。
なお、有機ガス用吸収缶では、繰り返し使用する場合の破過時間は、破過曲線図の有効時間より短くなる場合があります。
十分に安全を考慮し、余裕をもって吸収缶を交換してください。

警告 使用中にガスの臭気や刺激を感じたときには、直ちに使用を中止してください。

■吸収缶の保存期限

保存期限	望ましい保存状態
望ましい保存状態において、製造日から2年。 ただし、エチレンオキシド用とメタノール用は、1年。	1. 包装に孔あき等の破損がなく、未開封の状態であること。 2. 缶体にさびや変形がないこと。 3. 通常の状態（直射日光の当たらない場所で振動がなく、常温、常湿）で保管されていること。

■廃棄方法

- 廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に従って適切に処理してください。
- 使用済みの吸収缶は、吸収剤に吸着された有害物質が遊離し、又は吸収剤が吸収缶外に飛散しないように容器又は袋に詰めた状態で廃棄してください。
- 廃棄物処理法で規定している特別管理産業廃棄物を規制値以上に捕集した吸収缶はガスが漏れ出さないように処理をして、特別管理産業廃棄物として廃棄物処理法に従って、適切に処理してください。

■オプション部品 【別売】

《防じんマスク・防毒マスク共通》

●フィットチェッカー

密着性の良否の検査を行う場合に使用します。
2個必要です。
詳細は、**■密着性の良否の検査方法**をご覧ください。
防じんマスク用は、フィットチェッカー-R15
防毒マスク用は、下記対応表を参照してください。

●アルコール除菌スプレー

スプレー式の除菌用アルコールです。

●携行袋（全面形用）

マスクを収納したり、携行するのに便利です。

●全面形面体専用矯正めがねCG1

水中めがねタイプの矯正めがねです。
レンズは、－1.50～－8.00（0.5間隔、－6.00～－8.00は1.0間隔で）12種類あります。
（専用の曇止液付き）

●カバークラスFS

アイピースに貼り付けて、アイピースの汚れ、傷等を防止します。

《防じんマスク専用》

●フィルタガード 番 #50S82

火花や溶接スパッタ等がろ過材に飛び込むのを防止します。

《防毒マスク専用》

●外付けフィルタ用押え枠

吸収缶の前面に外付けフィルタを固定（取り付け）するのに使用します。

吸収缶、外付けフィルタ、押え枠、フィットチェッカー対応表

吸収缶品番	外付けフィルタ品番	押え枠品番	フィットチェッカー品番
Xシリーズ Tシリーズ	—	—	R10
	L3X	—	R15又はR10
	L2L	LL	R15
	LL		
TP/OV	SC	CL	R10
	—	—	R10
	SC	CL	
XL3/OV XPL3/MX	—	—	R15又はR10
XPL3+/OV TL3+/RI	—	—	R15

この製品の取扱方法、その他について不明な点は、下記へお問い合わせください。

株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
本 社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
☎0120-36-0277